

市長が行く

No.8

茂原市長 田中 豊彦

無関心といふ悪

今年は選挙の年です。今月末には千葉県知事選挙、そしてそれと一緒に茂原市では県議会議員の補選、また4月には茂原市議会議員選挙が予定されております。そこで今回は選挙について思つていることを述べてみたいと思います。

よく政治家は信用できないとか、政治には何も期待できないとかいう言葉を耳にします。政治を自分には直接関係ないこと、物好きな誰かがやることというように感じている方がいるのも事実です。大変残念なことに、昨年の市長選挙の投票率は、49%と半分にも届きませんでした。自分の生活に直接かかわる茂原市の舵取りをする人間を選ぶ選挙ですらこれなのです。これはとても恥ずかしいことです。

私は、政治に無関心であるということは、ひとつの悪だと思います。政治に関して無知であります。政治に無関心であることは、恥ずかしいことだと感じて欲しいです。世の中を少しでも良くしていくために、自分の耳目を^{じもく}_{しゃく}属して、自分の頭で考え、自分が良いと思つた人に

一票を投じることは、社会生活を行つていく上での人間としての責任だと考えます。

誰に投票すればいいかわからぬ？誰に入れても同じこと？

そんなことは決してありません。今は政治が悪いといわれる時代ですが、されど政治なのです。政治が良くならなければ世の中は良くなりません。政治家を志す人の中には信頼するに足る人物も必ずおり、今回立候補を表明している人物の中にも安心して政治を任せられる人がいると 思います。しっかりとアンテナを張つて、まず知ろうとしてください。そして自分の考え方を持つて投票を行つてください。

誰かに言われたから、仕事で世話になつたから、そういつたレベルでの投票もある意味では政治に無関心であることであり、それでは世の中は良くなるはずはありません。しがらみのない、真に一人ひとりの意思を反映した選挙が行われてこそ、世の中をえていくことができるのではないか？